



奈良県感染症情報

令和4年 第25週(6月20日～6月26日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 蚊媒介感染症について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.35	(6.59)	➡	↗	➡	➡
2	咽頭結膜熱	0.53	(0.44)	⬆	⬆	➡	⬆⬆
3	RSウイルス感染症	0.50	(0.24)	⬆	⬇	⬆⬆	⬇
4	突発性発しん	0.35	(0.35)	➡	➡	↗	⬇
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.18)	↗	➡	⬆	⬆⬆

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **⬆⬆**急増、**⬆**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**⬇**やや減少、**⬇**減少

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第25週の新型コロナウイルス新規感染者数は715名と第24週の793名より減少していますが、今後の感染状況について引き続き注視が必要です。7月以降は梅雨明け、3連休や夏休みの影響もあり、接触の増加等が予想されます。県民の皆様には引き続き、正しいマスクの着用、手指衛生、換気など感染対策をお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

咽頭結膜熱(プール熱)が増加しています。咽頭結膜熱は発熱、咽頭痛、結膜熱を主症状とする疾患で、感染経路は飛沫感染、接触感染などです。タオルの共用は避け、手洗い、うがいをこころがけましょう。

❖ 蚊媒介感染症について ❖

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることよって起こる感染症のことです。

主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。

これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。

日本においては日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症としてみられていますが、デング熱に関しては2014年に国内感染例が報告されました。

【対策法】

◆屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊にさされないよう注意してください。

◆日本脳炎は不活化ワクチンによる予防接種、マラリアは医師の処方による予防内服が有効です。

◆蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう。

詳細については、下記の参考URLからご覧ください。

参考 ©蚊媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>



出典:厚生労働省 HP
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkouyoku/0000165985.pdf>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 25 週 6 月 20 日 ~ 26 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ							
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	17 (0.50)	1 (0.11)	3 (0.33)	3 (0.43)	10 (1.67)		
咽頭結膜熱	18 (0.53)	3 (0.33)	5 (0.56)	4 (0.57)	3 (0.50)	3 (1.00)	
A群溶連菌咽頭炎	7 (0.21)	1 (0.11)	3 (0.33)	1 (0.14)	1 (0.17)	1 (0.33)	
感染性胃腸炎	216 (6.35)	48 (5.33)	53 (5.89)	30 (4.29)	79 (13.17)	6 (2.00)	
水痘	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)			
手足口病	7 (0.21)		2 (0.22)	2 (0.29)	3 (0.50)		
伝染性紅斑							
突発性発しん	12 (0.35)	3 (0.33)	2 (0.22)	3 (0.43)	4 (0.67)		
ヘルパンギーナ	1 (0.03)	1 (0.11)					
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	3 (0.30)	1 (0.33)		2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	レジオネラ症1件(吉野1)
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 後天性免疫不全症候群1件(中和1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第25週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた熱中症予防について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952909.pdf>

◆蚊媒介感染症, 2012年1月~2022年3月
(IASR Vol. 43 p125-128; 2022年6月号)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/route/arthropod/1770-idscc/iasr-topic/11199-508t.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女																						
RSウイルス感染症	男女	1		2	2	4	1	1														11	62
咽頭結膜熱	男女	1	1	7			1															10	84
A群溶連菌咽頭炎	男女			1					1		1											3	73
感染性胃腸炎	男女	2	9	19	17	19	14	8	6	3	4	6	2	1	2							112	1854
水痘	男女			1									1									2	16
手足口病	男女		1	3	2		1															7	49
伝染性紅斑	男女																						2
突発性発しん	男女		2	5		1																8	129
ヘルパンギーナ	男女			1																		1	10
流行性耳下腺炎	男女												1									1	9
急性出血性結膜炎	男女																						
流行性角結膜炎	男女															2			1			3	34
細菌性髄膜炎	男女																						
無菌性髄膜炎	男女																						2
マイコプラズマ肺炎	男女																						1
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

